



## “みんなのために”という思いが 根底に流れている

ちびっこ広場 園長 畠山裕子

親子の幸せを願い、想いを叶えられた大森さん。誰もやっていないこと、何も無いところから始めるのは本当に大変だったと思います。勇気ある一歩が「おいで、おばちゃん家」をスタートさせました。現在も継続され、長岡の子育て支援において、なくてはならない存在になっています。この家でたくさんの親子が育ち合い、支えてもらって、大変な時期を乗り切っていると思います。大森さんはファミリー・サポート・センターの提供会員としても活動されています。突然の依頼にも快く対応してくださるのは、“みんなのために”という思いが根底に流れているからですね。これからは私達と一緒に長岡の子育てを応援してください。

## II 市民協働 story II

長岡市では平成14年から、「市民が仕事と育児を両立させ、安心して働くことができる社会環境を築くため、育児を相互に援助しあうネットワークづくり」としてファミリー・サポート・センターを設置しました。主に平日の日中に1時間700円(市が200円助成)で、提供会員となった市民サポーターが利用会員の児童の預かりなどをおこなっています。しかし、働く親にとっては急を要する場合や夜間に利用したいなど、子育ての駆け込み寺のような場所を求める人も少なくない状況です。大森さんは、そんな親子の為に安心できる場所を提供しています。「おいで、おばちゃん家」は、幼い子から介護を必要とするお年寄りまでが一緒に過ごす温かく家庭的な空間です。大森さんが叶えた夢は、行政の援助が届かないところを埋めてくれる救いの手となっています。

## 夢・想いは叶う

おいで、おばちゃん家 代表 大森栄子 65歳

多額なお金をかけなくても住み馴れた地域の民家を利用し赤ちゃんから学童、障がいがあっても無くても昔の大家族の様な雰囲気の中でみんな一緒に過ごせる所、そして必要な時いつでも利用できる「みんなの家」を作りたい。そんな思い、気持ちを持った仲間が集まり、平成12年4月1日、スタッフ26名で小さな小さな「おいで、おばちゃん家」を開所致しました。開所当時、不安も心配も沢山ありましたが、本気になればつらい事など全く感じず、流した涙は真珠になるんだと後で気付きました。皆さんもきっと「想いは叶う」を信じて素敵な長岡のまちづくりに行動を移しませんか？こんな知恵もお金も無い私でさえなんとか想いは叶いました。大好きな長岡地域の皆さんにこれ迄育ていただき、これからはお礼返しのため安心して働けるよう、子育て支援のお役にたてたらと思っています。

